

パラスポーツと心のフェスティバル（障害者週間イベント・案）

1. 開催日時・場所 令和6年12月7日（土）10:00～14:00
志津コミュニティセンター（佐倉市井野794番地1）
2. 開催目的
 - ・ 障害のある人とない人が、障害の有無にとらわれることなく、支え合いながら社会で共に暮らしていくことができるよう、障害についての理解促進に努めます。
 - ・ パラスポーツの体験等を通じて、障害のある人とない人の交流と社会参加を促進します。
 - ・ 外見からはわかりにくい障害の周知を図ります。
3. 主催等（主催）佐倉市
（協力）佐倉市障害者総合支援協議会、順天堂大学
佐倉市障がい者団体等連合会（まちのバリア点検会実行委員会）他
4. イベント内容（案）
 - ・ パリ2024パラリンピック競技大会 出場選手 講演（案）
 - ・ パラスポーツ等の体験
 - ▶ ボッチャ、競技用車いす、フライングディスク、ディスクゲッター
 - ・ VR発達障害の体験（※裏面参照）
 - ・ 障害福祉サービス事業所の作品等の販売（クッキー、手芸品など）
 - ・ まちのバリア点検（障がい者団体等連絡会）の展示
 - ・ 東京2025デフリンピック 関連展示
 - ・ 市内小学校との連携
 - ▶ 合唱、吹奏楽、少年野球チーム
 - ・ 印旛特別支援学校さくら分校との連携
5. 収容人数 400名（参考）令和3・4年度→事前申込制（先着150名）

VR機器を活用した障害理解の促進について

障害者週間に合わせて開催するイベント「パラスポーツと心のフェスティバル」内でVR機器(*)を活用し、発達障害の特性を体験していただくブースの設置を予定しています。

❖第7次佐倉市障害者計画・第7期佐倉市障害福祉計画 29 ページより

(1) 障害理解の促進

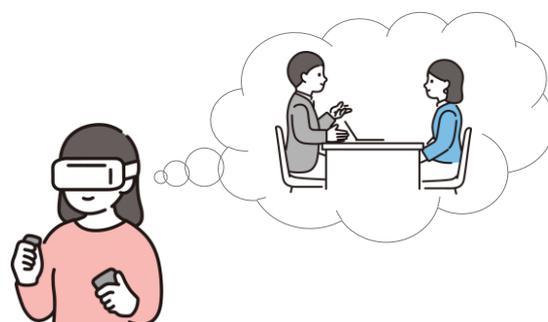
①心のバリアフリーの推進

心のバリアフリーとは、様々な心身の特性や考え方を持つ全ての人々が、お互いに理解を深めようとコミュニケーションを取り、支え合うことです。

特に知的障害、精神障害、発達障害、難病、高次脳機能障害など、外見からは分かりにくい障害についての理解の促進を図ります。

(*) 「VR」とは…VRは、「Virtual Reality」の略で、「仮想現実」を意味します。

具体的には、専用のゴーグルで人間の視界を覆うように360°の映像を映すことで、実際にその空間にいるような感覚を得られる技術です。



❖VR体験の流れ (1回15分程度)

- ①事前に映像の内容を紹介 (3分程度)
- ②VR映像で疑似体験 (3-5分程度)
- ③映像の内容や障害特性の補足説明 (3分程度)
- ④当事者インタビューを視聴 (3分程度)
- ⑤アンケート

❖期待できる効果

当事者の感覚を疑似的に体験することで、言葉だけでは伝わりにくい障害についての理解を深めることができます。また、体験を通して当事者が希望する配慮を具体的にイメージしていただきやすくなります。